

(資料提供)

月 日	担当館名	電話	担当者
6月28日(火)	徳島県立近代美術館	tel:088-668-1088 fax:088-668-7198	学芸員 江川 吉原

## 「所蔵作品展 徳島のコレクション2016年度第Ⅱ期」(前半) 及びテーマ展示「戦後徳島の美術」の開催について

### 趣 旨

「所蔵作品展 徳島のコレクション 2016年度 第Ⅱ期」前半の展示を行います。

今回は、展示室2において、テーマ展示「戦後徳島の美術」《7月9日(土)から9月11日(日)》を開催し、終戦前後から、美術家たちの活動が本格化するまでの時期についてご紹介します。

終戦の翌年、徳島では11月に美術家たちが集まって、第1回県展を発足させました。会場は焼け残った徳島市内の丸新百貨店でした。平和の到来を喜ぶ美術家たちの思いが詰まった展覧会でした。

会場正面には、原菊太郎の作品〈大空襲直後の徳島市街(諏訪大明神)〉を展示します。1945年7月4日未明の徳島市への空襲から4日後の朝、画用紙がなかったため、本の表紙内側に、それまで人家が建て込んで見えなかった諏訪神社(徳島市南佐古三番町)が描かれています。

展示室1の特集「立つこと、座すこと、歩むこと」では、それぞれの様態における人の心のありようを推し測っていただき、20世紀の人間表現のコーナーでは、ゆったりとした展示空間をお楽しみいただきます。現代版画のコーナーでは、吉原英雄の版画、浜田知明の版画、若林奮の版画により、作家の個性を見比べていただきたいと思います。

また、展示室3においては、9月17日から10月16日まで、「受贈記念 泉 茂の版画」を開催します。

7月21日～8月31日は「家族でおでかけ・節電キャンペーン」により所蔵作品展が無料でご覧いただけます。

- 会 期 : 2016年7月9日(土) - 10月10日(月・祝)  
\*後半は、10月12日(水) - 12月18日(日)の会期で、  
特集2「戦後日本画の人間表現」を組み入れての展覧予定です。

現代版画(前半)

吉原英雄の版画 7月9日[土] - 8月7日[日]

浜田知明の版画 8月9日[火] - 9月11日[日]

若林奮の版画 9月13日[火] - 10月10日[月・祝]

- 主 催 : 徳島県立近代美術館
- 会 場 : 徳島県立近代美術館  
[展示室1、展示室2、美術館ロビー、屋外展示場、彫刻の小径]
- 開館時間 : 午前9時30分～午後5時
- 休 館 日 : 月曜日(7月18日、8月15日、9月19日を除く)、7月19日、9月20日
- 観 覧 料 : 一般 200円(160円)、高校生・大学生 100円(80円)  
小学生・中学生 50円(40円) \* ( ) 内は団体(20名以上)の場合

65 歳以上の方で年齢を証明できるものをご提示いただいた方、および身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をご提示いただいた方とその介助をされる方 1 名は観覧料が無料になります。

小・中・高生は、土・日・祝日・振替休日および夏休み中の観覧料が無料になります。

大学生・一般は、祝日および振替休日の観覧料が無料になります。

## 7. 関連事業

### 【学芸員による展示解説】

「立つこと、座すこと、歩むこと」

日時：7月18日[月・祝]、7月31日[日]、9月18日[日]

午後2時から2時45分

担当：吉原美恵子[学芸員]

場所：展示室1（9月18日は観覧券をお求めいただきます。）

### 【テーマで知る名品】

「焼け跡からの出発」

日時：8月7日[日]

午後2時から2時45分

担当：江川佳秀[学芸員]

場所：展示室2

## 8. 出品内容

### 【展示室1】

特集では、アバカノヴィッチや津田亜紀子の立体作品、安斎重男の写真作品など、当館所蔵作品 52 点。

20 世紀の人間表現では、アントニー・ゴームリーの彫刻、ピカソの油彩画など 4 点。

現代版画は 3 期に分けて、吉原英雄、浜田知明、若林奮の版画を計 52 点。

### 【展示室2】

伊原宇三郎、河野太郎、長尾弘子などの 24 点に加え、画家たちのスクラップブックなどの資料も展覧。

このほかに、美術館ロビー、屋外展示場、彫刻の小径に 12 点を展示。

前半展示作品の合計点数は 144 点。（資料類含まず）

\* 今期は、前期（9月11日まで）と後期（9月13日から）で、出品作品の一部展示替えを行います。